

横浜市立牛久保学校 平成 30 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○わかる楽しさ・できる喜びを感じる魅力ある授業づくりに努め、基礎・基本の確実な定着、体験的な学習の推進、体力向上への取組を継続します。(知・体)	
○確かな児童の実態把握を通して、一人ひとりを大切にしたい学習指導と心を育てる児童指導の充実を図ります。(知・徳)	
○家庭・地域・各関係機関等との連携を深め、子どもを真ん中にした「チーム牛久保」としての取組をすすめ、信頼に応える着実な教育実践に努めます。(公・開)	
○教職員一人ひとりの専門性を高めるとともに、新学習指導要領の完全実施を見据え、牛久保らしい教育課程の創造に努めます。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	○自分の健康について考え、見つめる取組(食育、保健活動等)の充実を図る。	・生活科や理科、保健などの学習を大切にしたり、体力テストの結果を生かしたりして、自分の体を見つめ、健康を意識した生活ができるような取組を考える。 ・食や体に対する関心を高めるために、栄養教諭による食育の学習を継続して行ったり、学校保健委員会子どもたちに必要なテーマを取りあげたりする。 ・一校一実践の「縄跳び」や持久力を高めるランニング等に継続的に取り組む。
担当	○1校1実践運動を継続して、『強い体』を育てる。	
	○心豊かな生活環境部(含む A 研体育部)	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・栄養教諭による食育授業や学校保健委員会の開催により、食と健康への関わりについての意識が高まり、ここ数年、朝食摂取率の向上や給食残食率の減少が見られる。
- ・一校一実践である縄跳びを始める前と比較して、全ての学年の男女別の平均値における立ち幅跳びの記録の向上が見られるように、ここ4年間で跳の基礎運動能力が向上している。

(2) 体力の概要と要因の分析(小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)

平成29年度 全国体力・運動能力の結果

	種目	立ち幅跳び (cm)	20mシャトルラン (回)
男子	全国平均	140.15	42.42
	自校平均	145.30	38.54
女子	全国平均	132.33	33.73
	自校平均	136.28	28.01

- ・平成29年度の児童の体力の状況は新体力テストの結果からも、必ずしもすべてがよい状況にあるわけではない。特に20mシャトルランが全国の平均を下回っている。
- ・平成25年度からの5年間で、全児童の「跳」の基礎運動能力が向上した。しかし、短縄運動で伸びが期待される持久力については伸び悩んでいることが現状である。

持久力が課題!!

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

○本校で作成した教育課程を実践しながら検証し、自分の成長を実感できる体育学習を展開する。また、体育学習時における「2分間縄跳び・2分間走」朝集会での「3分間長縄記録会・2分間ランニング」（1校1実践運動）を中心に、健やかな体をつくる取り組みも実践する。

《他教科での取組》

○家庭科では、食育との関連を図る。
○生活科・理科では生命の尊さを指導する。

道徳・特活・総合

- 運動会
- 特別活動（長縄大会）
フレンドチームによる活動
- 体験学習・修学旅行前に栄養教諭の食育の授業
- 人権週間
- あいさつ運動
- スポーツ交流会（5・6年）
- 健康診断
- 地域との触れ合い（さくら祭・敬老会訪問）
- 栄養教諭による食育授業巡回

課外活動

- 特設クラブ（水泳大会・体育大会）
- マリノスサッカーキャラバンの招致
- 学校保健員会
- 保健指導

平成30年度 牛久保小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 「2分間縄跳び・2分間走」「朝の3分間長縄記録会・2分間ランニング」

《ねらい》 継続して取り組む活動や自分の記録に挑戦する活動を通して健やかな体を育てる。

《内容》 ○体育の時間を使い、2分間の縄跳びを行うことで、持久力や体力の向上を図る。
○「朝の3分間長縄跳記録会・2分間ランニング」を行うことで、自分たちのクラスの記録向上への意欲や、休み時間に、子どもたちから自発的に長縄運動に取り組むことができるようにする。
○今まで積み重ねてきた披露の場を設ける。→運動委員会企画（中休み）年2回行う。

●指 標： ①掲示板を作成し、各クラスの長縄記録会の記録を記入していくことで、意欲を高める。
②新体力テストの「シャトルラン」「立ち幅跳び」の記録の経年変化を分析する。